



平成26年度施政方針

未来につなぐ

新たな都市戦略



市議会定例会が2月28日から開かれ、松本崇市長は平成26年度の市政運営の基本姿勢を示す「施政方針説明」を発表しました。
 今回は、平成26年度に重点的に取り組む5つの方針の基本的な方向性と主な事業をお知らせします。

▼施政方針説明(要旨)

これからの市政運営においては、新幹線を活かしたまちづくりや新図書館の建設など、未来の大村市の発展に向けた都市基盤の整備を着実に進めるとともに、次世代を見据えた人材育成や新たな産業振興策など、成長戦略に基づいた都市経営を目指すことが重要となります。このようなことから、平成26年度は「未来につなぐ新たな都市戦略」をテーマに、次の5つの重点方針を柱に市政運営に取り組んでまいります。

これからも

「市民が主役」

「対話の市政」を基本に

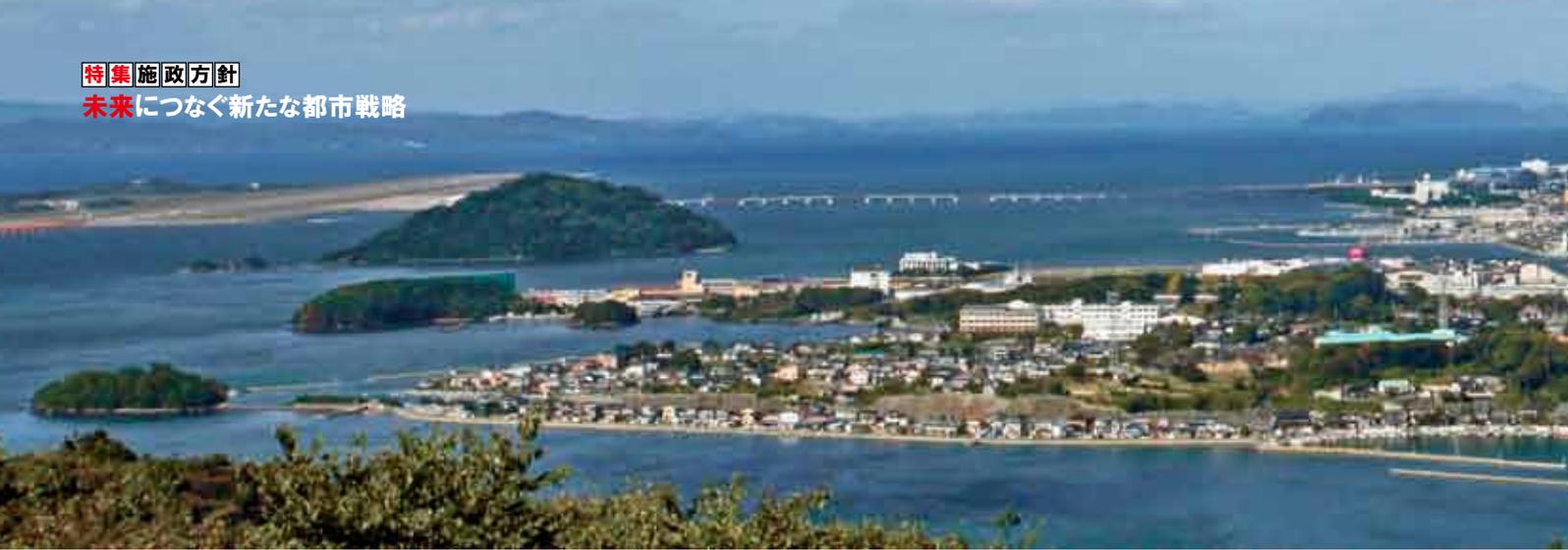
「日本でもっとも住みたくなるまち」

「福祉のまち日本一」を目指し

全力を尽くしてまいります

松本 崇 大村市長





重点的に取り組む施策

① 未来に向けた都市基盤の整備

② 未来を支える「ひとづくり」と「ものづくり」



有識者や市民の代表で構成する「新幹線新大村駅(仮称)周辺地域まちづくり計画策定委員会」が、昨年12月に示した中間報告でのイメージ。



グローバルな人材育成や国際交流推進に取り組めます。昨年12月、外務省ジェネシスによるアジア大洋州諸国の学生を三城保育所の園児がお出迎えしました。



市立大村市民病院建替イメージ (外観図:前面道路よりのぞむ)

- 将来を見据えて安全で快適な都市機能の充実のため、市民生活の安全の確保や新幹線を活かしたまちづくりなどに取り組んでまいります。
- 防災行政無線の整備、小・中学校の体育館や武道館の耐震化改修
- 新幹線新大村駅(仮称)周辺地域まちづくり計画策定や、駅周辺整備の基本設計
- 国道34号の大村・諫早間4車線化や(仮称)道の駅整備に向けた取り組み
- 市立大村市民病院建替の着手

- 本格的なグローバル社会の到来を踏まえ、世界で活躍できる人材や産業の育成を戦略的に進めるため、教育環境の充実や国際交流の推進に取り組んでまいります。
- モデル指定校の小・中学校への情報端末機器(タブレット端末など)配備、子どもたちが芸術文化に触れる機会の創設、通級指導教室の増設
- 大学誘致戦略会議の設置
- アジア国際戦略に向けた調査研究や、国際交流プラザの開設



未来のにぎわいと
活力を育むまちづくり

3

市民や企業、団体、県内自治体との連携を一層強化し、交流によるにぎわいを生み出すとともに、**将来を支える新たな都市の活力を創出**します。

- 市民交流プラザのオープンを契機とする中心市街地のにぎわい創出のための取り組み
- 大村湾沿岸5市5町による自治体ネットワーク設置
- 国体の成功に向けた取り組み



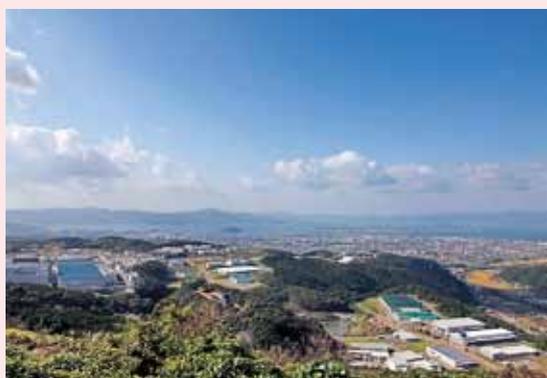
「コレモおおむら」とともに、2核1モールのもう一つの核「市民交流プラザ」が11月にオープンします。中心市街地の新たな魅力とにぎわいを創出します。

おおむらの
産業の新たな展開

4

本市経済の活性化を促進するため、商工業や農業・水産業など、地域の特性を活かした**新たな産業振興策**に取り組むとともに、雇用の拡大と所得の向上を目指した**企業誘致対策**を積極的に推進します。

- 中小企業振興基本条例に基づく新たな支援
- 新工業団地の整備、誘致企業への産業業務支援機能の充実
- 意欲ある農業者を積極的に支援する農業経営チャレンジ支援、漁港周辺施設整備などの水産業の振興



昨年度、大村ハイテクパークとオフィスパーク大村の分譲地が完売しました。今年度は、更なる企業誘致の受け皿となる新工業団地の整備を進めます。

子どもから高齢者
まで優しいまちづくり

5

子育て世代が楽しく子育てできる環境を整備するとともに、市民が住みなれた地域の中で、**健康で生きがいを実感できるまちづくり**を進めます。

- 大村市子ども・子育て支援事業計画の策定、放虎原こども園の開設、こども未来館の開設
- 高齢者による子育て支援や介護技術習得など高齢者の生きがいづくりと地域介護基盤の整備、地域包括ケアシステムの構築
- 第2次健康おおむら21計画の推進



市民交流プラザのオープンに合わせ、室内に大型遊具を設置し、親子が安全に楽しく遊べる「こども未来館」を開設します。



主な新しい取り組み

▽こども未来館の開設

中心市街地に設置する市民交流プラザ内に、室内の大型遊具で親子が安全に楽しく遊べることも未来館を開設

こども未来館イメージ



▽アルカディア保育園の整備

工業団地の誘致企業に対する産業業務支援の充実のため、アルカディア大村（雄ヶ原町）内に保育園を整備

▽地域介護基盤づくり事業

元気な高齢者を対象に、介護に必要な知識と技術の習得を支援

▽官民連携型国際交流事業

市民が主体となった国際交流を更に推進するため、市民団体や民間企業と連携し、本市の国際交流の拠点となる大村国際交流プラザを開設

▽大学等誘致推進事業

全国における大学の状況分析と誘致に向けた方策を調査研究する大学誘致戦略会議の設置

▽子ども芸術文化活動事業

市内の小学生を対象に、OMURA室内合奏団のコンサートに招待

OMURA室内合奏団
アウトリーチコンサート風景



▽中小企業への支援

新規起業者を対象とした新たな融資制度の創設や、中小企業振興施策などについて調査、審議を行う中小企業振興会議の設置

▽農業経営チャレンジ支援事業

長崎県立農業大学校へ進学する若者に対する就学助成や、農業経営の情報化推進、農地の利用集積、農産物の高品質化などの取り組み

市特産品の黒田五寸人参



※施政方針の全文は、市のホームページに掲載しています。

■企画調整課（内線226）